

そらぷちキッズキャンプ ウィンターキャンプ 2016

キャンプレポート



北海道滝川市丸加高原 公益財団法人そらぷちキッズキャンプ
キャンプ場にてファミリーキャンプ、グループキャンプを実施しました。
北海道の外は一步出た瞬間からワクワクの連続です。
馬とのふれあいや、森、広場での雪遊びタイムがありました
真っ白になった顔を見合わせた時、
みんなで一緒においしいご飯を食べた時、
キャンプ場にはたくさんの笑い声があふれていました。

【キャンプ概要】

ファミリーキャンプ(家族単位参加)

1/29(金)～ 2/1(月) 3泊4日

参加者: 6 家族 22 名(小児がんとたたかう子どもと家族)

居住地域: 福島 1、東京 1、千葉 1、愛知 2

スタッフ等: 約 30 名

(医療従事者、事前研修を重ねたボランティアなど)



グループキャンプ(団体参加)

2/11(木祝) 1日のみ

参加者: 14 家族 50 名

(滝川市子ども発達支援センターを利用している子どもと家族)

スタッフ等: 約 35 名

(センター職員、事前研修を重ねたボランティアなど)



ファミリーキャンプ(家族単位参加)

2/12(金)～ 2/15(月) 3泊4日

参加者: 4 家族 14 名(小児外科系疾患の子どもと家族)

居住地域: 北海道 2、神奈川 1、東京 1

スタッフ等: 約 30 名

(医療従事者、事前研修を重ねたボランティアなど)



ウィンターキャンプ 2016



乗馬体験



馬そり体験

参加者からのメッセージ

「戦友であり、仲間」 7歳男子保護者
がんと向き合い始めた時期にこのキャンプを知り、良いタイミングで参加させていただきました。参加した家族は個々がんと闘ってきた戦友であり、傷の痛みを十分に解り合える仲間でした。こういう機会は年に数回もありませんので、我が家にとってはとても充実したキャンプになりました。

「家族の時間」 7歳男子保護者
そらぶちに参加させて頂き、家族とは、生きるとは…を改めて考えさせて頂ける時間になりました。3泊4日でゆっくりと兄弟、家族で時間を持つことで、ほんの少しでも精神的ケアにつながると思います。日常は忙しい日々なので夫婦でもゆっくり話し合う事もできましたし他の家族の方との情報交換ができました。夢の様な…夢の国にいる様な…そんな4日間でした。



絵本朗読会



バナナボート



いもちづくり



次はあっちに行こう

ウィンターキャンプ 2016



スノーラフティング



やくそく発表

「この笑顔を守っていきたい」 14歳女子保護者
同じ病気の子どもたち、きょうだいたちが日ごろいろんな
思いをもって生活しています。でもこの4日間だけは
すべての雑音や雑念を忘れ今を思いっきり楽しんで
たように思えました。心の底から楽しんで、いい笑顔を
たくさん見せてくれました。この笑顔をたやさない様
親として全力で守っていきたいと思いました。

「はじけるような笑顔を見れた」 16歳女子姉妹
あまりの雪の多さに驚きましたが、そのおかげで
たくさんの雪遊びができました。
初めてのスノーモービルは雪が顔に当たってとても
冷たかったですが、とてもおもしろかったです。
妹が楽しそうにしていただけでなく家族全員が楽しめた
ので良かったです。
妹のはじけるような笑顔を見ることができました。



雪玉釣り



足跡みつかるかな



みんなでいただきます



ツリーハウスカフェオープン



雪上の天使